

市政報告

葉風

Vol.24

平成18年(2006年)7月
発行 母谷たつりのを育てる会
編集 岡田 孝

<http://www.motani.jp>



母谷たつりの

謹啓

6月9日から始まったFIFAワールドカップ・ドイツ大会に3大会連続で出場した日本は予選リーグF組で2敗1分けという散々な成績で敗退してしまいました。マスコミに煽られた戦前の予想を遥かに下回る内容はこの大会を大きなステップアップに位置づけた目標からすれば後退した感は否めず今後多くの課題を残す結果となりました。



シャレオ中央広場 (市民ニーズにあったテナント構成や広場などの有効利用が求められています)

4年間日本代表チームを率いた親日派のジーコ前監督が有終の美を飾ることなく日本を離れたことは大変残念であり、さらにチームの司令塔であった中田英寿選手の電撃引退が発表されるなど日本中のサポーターを驚かせましたが、彼の美学からすれば当然の決断なのかも知れません。国際情勢としては7月15日から開かれるサントペテルブルグでの主要国首脳会議(G8)を前にした7月5日未明の午前3時32分から午前8時30分までの間に、北朝鮮が6発のミサイルを相次いで発射し、北東アジアを恐怖のドン底に陥れました。また、同日午後5時22分には7発目のミサイルを発射し、その対応に追われていた日本をはじめ世界中を驚かせたのであります。

この日は米国の独立記念日であり、ディスプレイを相次いで発射し、北東アジアを恐怖のドン底に陥れました。また、同日午後5時22分には7発目のミサイルを発射し、その対応に追われていた日本をはじめ世界中を驚かせたのであります。この日は米国の独立記念日であり、ディスプレイを相次いで発射し、北東アジアを恐怖のドン底に陥れました。また、同日午後5時22分には7発目のミサイルを発射し、その対応に追われていた日本をはじめ世界中を驚かせたのであります。計画的行動であると考えられています。しかし、この事件発生によってこれまで北朝鮮に対して友好的であった中国やロシア、融和政策をとってきた韓国も一斉に遺憾の意を表明しました。日本は即日、安倍晋三官房長官が日朝平壤宣言に違反するとして万景峰号92の入港禁止措置など9項目からなる日本独自の制裁を発表しました。さらに日本は国連の安全保障理事会に対し緊急協議を要請し、北朝鮮に対する制裁決議を採択するよう求め

ました。しかしながら中国とロシアが拒否権の行使など反対の姿勢を表明したため国連憲章第7章に基づく制裁決議案は削除されることになり、替わって「安保理の特別な責任の下で行動する」という修正案が各国に理解され、難航していた協議は全会一致によって北朝鮮非難決議を採択し、主要国首脳会議でも同様の厳しい議長声明が発表されました。

小泉首相が言うように「これによって北朝鮮が得るものは何もない」ことは明らかであり、ミサイル発射による「国際平和と安全への脅威」は世界における北朝鮮のさらなる孤立を意味し、瀬戸際政策の末期的症状とされています。

また、韓国は同日、日本の排他的経済水域(EEZ)内の竹島周辺を海洋調査船「海洋2000」で14時間半にわたって日本の領海を侵犯しました。これに対し日本は巡視船「だいでん」が追尾したものの毅然とした海上警備行動ではなく、結果として韓国に「この調査は正当な主権行為」と主張させることになってしまいました。

今後は中国による東シナ海のカス田開発なども含め日本の領土と主権をハッキリと主張し、国民が納得する外交政策を期待したいものです。

さて、広島市議会第3回定例会は6月19日から11日間の予定で開会され、補正予算案3件(31億5,548万6千円)、条例案14件、その他の議案10件が審議され、議会最終日には任期満了に伴う助役の選任同意案、広島地下街開発(株)「シャレオ」の社長に転出した代表監査委員の後任人事に伴う選任同意案が追加議案として上程されました。今議会では副議長長の辞職に伴う選挙や常任委員会委員など議会内の人事も行われ、私は文教委員会委員長を拝命いたしました。

今後は「確かな学力」の向上や地域と一体になった「安全の確保」など子供達を守り、育てる社会環境や価値観を醸成することが肝要であると考えており、活発な議論を期待しています。補正予算では主に水道事業(20億5,377万

7千円)と下水道事業(10億9,704万4千円)の高金利対策借換債の返済資金が計上され、全体で3,937万9千円の金利負担が軽減されることになりました。

また、障害者自立支援法の10月1日、本格実施に伴う経過措置としては利用者の負担軽減策として今年度分2,012万1千円が補正予算として計上され、当面4年間で計画されています。

議案外の問題では新球場建設に伴う命名権の問題がメディアを通じて報道されていますが、幾多の困難を乗り越え、市民とともに戦後復興の歴史を積み重ねて来た象徴とも言える現在の**広島市民球場に適用すべきではない**と考えております。

また、秋葉市長の決定した貨物ヤード跡地に建設するという新球場構想も現段階では設計コンペ、本体建設の入札、工事期間、建設資金など不透明な問題が山積していることや依然として残るドーム球場待望論と併せ広島駅前再開発事業のBブロック、Cブロック、広島駅北口の若草町地区再開発事業など広島駅周辺整備との一体的ビジョンが示されなまま来春の市長選挙を迎えようとしていることも大きな懸念材料となっております。

私は今後とも「明るく元気で魅力ある広島」の実現に向け、さらに精進する覚悟でございますので引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願いいたします。

皆様方におかれましては猛暑の折柄十分なるご自愛の上、お過ごしいただきますようお願い申し上げます。

広島市議会議員 母谷龍典 謹白

ご意見
ご要望は

いい汗流そう！いい笑顔つくろう！
あなたの声を聞かせてください

私が直接
ご返事します

母谷たつりの
ホットライン

mokkun@cc22.ne.jp

広島市佐伯区に

小中高一貫教育校の開設を!



至美鈴が丘トンネル

昨今の少子化問題には歯止めがかからず、次代を担う子供達の将来における教育環境や個々の資質能力など、国としての教育レベルが懸念されています。

こうしたことから時代の要請とも言える通学区域の弾力的運用に始まり、今日では隣接校・行政区域内校選択制の導入や2学期制の実施など子供達を取り巻く環境はソフト面でも大きく変化し始めています。

将来における学校のあり方を展望する時、中央教育審議会や教育改革国民会議の答申など、多くの問題も指摘されておりま



美鈴学園陸橋

すが、地方では各自治体が教育委員会とともに地域の実情に合った特色ある新たな学校運営を模索する時代が来たと考えております。既に中高一貫教育は全国で展開されており、我広島市でも平成15年に安佐北中学・高校が開校し、その先陣を切っています。

今後は少子化問題に直面する私達にとってこれをチャンスと捉え、全国的にも珍しく、恵まれた環境にある美鈴が丘小学校、中学校、高等学校を全国に先駆け小中高一貫教育の場とすることを提案いたします。



至石内バイパス



広島市立美鈴が丘中学校

交差点のハス向いに設置されました



ラッシュ時の波出石交差点(右端が増設した信号機)

信号が点きました!

夕方のラッシュ時に西広島バイパスを広島方面から右折して五日市筒賀線に曲がる時、波出石交差点で「信号機の位置が高すぎて見えない」といった苦情が2年前から私のところへ寄せられていました。

関係機関と鋭意協議を重ねてきた結果、今春4月に念願の信号機が増設設置され、「見やすくなった」と皆さんから喜ばれています。

皆で交通ルールを守って事故のない社会生活ができるといいですね。

母谷たつのり事務所

〒731-5114

広島市佐伯区美鈴が丘西5丁目17番12号
TEL.929-9002 FAX.929-9002

E-mail mokkun@cc22.ne.jp

市議会

TEL.504-2443
FAX.244-1419



広島市議会ホームページ
<http://www.city.hiroshima.jp/gikai/index.html>
母谷たつのりホームページ
<http://www.motani.jp>